

大山の森だより

2020年春号

春紅葉（はるこうよう）

木々の新芽が萌え出ずる春がやってきました。

新緑のころの山は木々が一律の緑ではなく、秋の紅葉と同じように赤や紫、薄黄色など様々に彩られ、「山笑う」と表現されるほど華やかです。

この新緑の中に赤や黄色に色づいた木々が混じり合った情景を、「春紅葉（はるこうよう）」と呼びます。

秋の紅葉は、落葉前に葉緑素が減少して色素が見える現象ですが、



※写真はヤマザクラ

春紅葉とは、広葉樹の新芽が光合成で葉緑素を蓄える前に、元来もつ色素（赤や黄）が見える現象のことです。秋と同様にカエデ類の赤色が目立つため、「はるもみじ」と呼ぶこともあります。

大山には、イタヤカエデ、ウリハダカエデ、ハウチワカエデなど、たくさんのカエデ類が生育しており、春紅葉も見事。ぜひ春の紅葉狩りに大山へお越しください。見頃は4月中旬から下旬です。

冬期 自然ふれあい事業 活動報告

○大山の森で冬芽探し

3月7日(土)



春の気配を探して雪が残る大山の森を散策。冬芽や野鳥を観察しました。残雪の斜面では飼料袋のソリ滑りも体験。過ぎ行く冬を楽しみました。

※1月25日(土)に開催予定の

「スノーシューで行く大山・幻の滝(稚児滝)」は、積雪不足により中止になりました。

※2月22日(土)に開催予定の

「スノーシューで行く 願掛け地蔵へ願いを込めに」は、悪天候により中止になりました。

■ 下山キャンプ場と豪円山キャンプ場

使用禁止のお知らせ

下山キャンプ場と豪円山キャンプ場は、改修工事のため2020年中は使用できません。

駐車場も工事関係者以外は使用禁止です。

周辺のキャンプ場をご使用いただくようお願いいたします。

【大山周辺のキャンプ場】※有料

○森の国 いこいの森キャンプ場（大山町赤松）

○夕陽の丘 山香荘 神田キャンプ場（大山町加茂）

○OFBI DAISEN-First class Backpackers Inn.（伯耆町小林）

○ODACG 大山オートキャンプ場（伯耆町福兼）

○休暇村奥大山 鏡ヶ成キャンプ場（江府町御机鏡ヶ成）

※詳細は各キャンプ場へ直接お問い合わせください。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。

裏面にイベント情報を掲載しています。

大山の森に住む赤茶色のカエル

♪ タゴガエルとヤマアカガエル ♪

5月ごろに大神山神社の参道を歩いていると、逆さ門横の手水鉢付近から、「ククツ クツ」「ググツ グツ」とくぐもった鳴き声が聞こえてくることがあります。調べてみると水が染み出る石垣の隙間で鳴いているようです。私はヒキガエルの鳴き声だとずっと思っていたのですが、最近になって山地の森に住むタゴガエルというアカガエルの声だと知りました。



ヤマアカガエル



タゴガエル

大山の森にはヤマアカガエルという姿かたちがそっくりなアカガエルもあり、どちらも日本の山地に広く分布しています。どちらかというとなごガエルの方が高い山に多いそうです。

見分け方はアゴの下の斑点です。薄墨色の細かい斑点があればタゴカエル、はっきりした黒い斑点があればヤマアカガエルです。ヤマアカガエルの鳴き声は「クワワワ、クワワワ」と明るくはっきりしています。

姿はそっくりですが、生態はかなり違います。

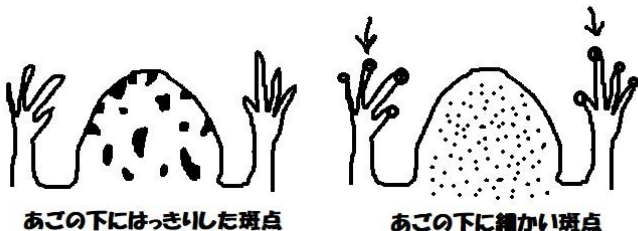
タゴカエルは4、5月頃に湧水のある岩の隙間で大きめの白い卵を100個程度生み、ふ化したオタマジャクシは岩の隙間から出ることなく、卵の栄養だけで小さなカエルの姿に変態して7月頃に岩の隙間から外に出てきます。

一方、ヤマアカガエルは1～6月にかけて森の中のたまり水に1000個を超える黒い卵の塊を産み付けます。そしてオタマジャクシの姿でふ化し、落ち葉などを食べながら、夏にカエルの姿に変態して地上に上がってきます。小さいサイズでは見分けが困難です。

【ヤマアカガエル】

【タゴガエル】

※指にイボがあるのも特徴



あごの下にはっきりした斑点

あごの下に細かい斑点

※腹側だよ～

両種とも森の中で夜間か雨天時に活動し、昆虫などを捕食しており、日中は枯葉の下や岩の隙間などに隠れています。

大山にはこの2種類のアカガエルのほかに、溪流にナガレタゴガエル。田んぼや小川、林にニホンアカガエルが生息しています。

背中中の2本の筋が真直ぐであごの下が白ければニホンアカガエル（鳴き声：「キュキュキュキュ」「キュロロロ」）。溪流に棲み、後足の水かきが発達していればナガレタゴガエル（鳴き声：「グルル」）です。

さあ、大山のアカガエルを探してみましよう♪

【ニホンアカガエル】

【ヤマアカガエル】

あごの下は白

あごの下は斑



背中の線がまっすぐ



背中の線が鼓膜のところを影らむ

大山のダークヒーロー「マムシグサ」を図解する

虫を臭いで^{だま}騙し、死ぬまで働かせる！全草猛毒！

草丈50～100センチ。明るい林の中や谷沿いの湿ったところに生え、地下の芋(塊茎)に栄養を蓄える雌雄異株の多年草です。ある程度塊茎が大きくなるまで花を付けません。花は5～6月ごろに、まず雄花をつけ、さらに何年かして塊茎に十分に栄養をため込んだ後に雌花をつけます。一度雌になった株でも雄株に戻ることがあり、栄養状態によって雄雌が分かれる性転換植物です！実は8月頃から赤く熟します。自然観察会の影の主役になる毒草です。

【マムシグサ(サトイモ科テンナンショウ属)】

★花言葉は『壮大』

【花(仏炎苞)】

屋根のように伸びた仏炎苞の一部は、中の花を水から守る役割のほか、おびき寄せた虫を逃がさない役割もしている。

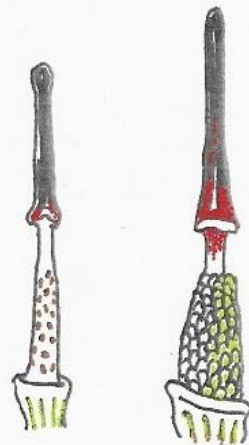


芋から垂直に伸びる茎にはヘビ(マムシ)のウロコのような模様があり、茎から出る2枚の葉は鳥足状の小葉に分かれています。

【芋(塊茎)】



【実】



【雄花序】

【雌花序】

雄花と雌花は、鎌首をもたげたヘビのような仏炎苞で覆われており、どちらも香りで主にキノコバエをおびき寄せます。

雄花の仏炎苞の合わせには隙間がありますが雌花にはありません。雄花の上から入ったキノコバエは下の雄花序にたどり着きますが、餌のキノコはありません。脱出しようにも仏炎苞の内側はつつつで登れないようになっており、また雄花序の上部にある細長いキノコのような形の「返し」が脱出を難しくしています。そして出口を探しているうちに花粉まみれになったキノコバエが仏炎苞の隙間から這い出る仕組みとなっています。

その後、雌花に入ったキノコバエは雌花序の中で受粉だけさせられて殆どが絶命することになります。

8月頃から熟し始める赤い実はトウモロコシのようです。実の下の軸は濃い赤紫色をしています。実には猛毒のシュウ酸カルシウム、サポニン等を多量に含み、口にすると無数の針を突き刺したような地獄の苦しみを味わえるそうです。

ほとんどの動物は食べませんが、一部の鳥は好物で、ヒヨドリや冬鳥のジョウビタキがつついて食べます。

芋(塊茎)は特に毒性が強いとのこと。こんな悪夢のような芋を古代の人は毒抜きして食べたそうですから怖いものです。

※死亡する可能性もある毒草ですから、決して食べないでください。

ーイベント情報（4月～6月）ー

■自然公園財団のイベント

○鏡ヶ成山開き・擬宝珠山登山（協力事業）

開催日：4月23日(木) 8:30～12:00頃

会場：江府町 鏡ヶ成

集合場所：休暇村奥大山 レストハウス前

参加費：無料

※申し込み:0859-75-2300 休暇村奥大山

カタクリの花咲く擬宝珠山(1110m)を自然ガイドとともに登ります。

歩行距離2km。高低差200m。

下山後には温かい団子汁(先着50名)が待っています。



○榊水高原・アサギマダラ観察会

開催日：5月23日(土) 9:00～12:00頃

会場：伯耆町 榊水高原

集合場所：榊水高原天空リフト駐車場

参加費：1500円 お菓子と飲み物代を含む
天空リフト料別途

※アサギマダラ再捕獲情報は財団HPで紹介します。



榊水高原の森は旅する蝶「アサギマダラ」の群れが観察できる知られざる名所。足元から大型の青い蝶がフワフワと舞い立つ様は圧巻です。

アサギマダラの追跡調査のためにマーキングして放蝶します。

定員15名

○大山北壁・アサギマダラ観察会

開催日：6月20日(土) 9:00～12:00頃

会場：だいせんホワイトリゾート国際エリア

集合場所：自然公園財団事務所前

参加費：1500円 お菓子と飲み物代を含む

※アサギマダラ再捕獲情報は財団HPで紹介します。

日本海を望む大山北壁の国際エリア周辺は、初夏にはヨツバヒヨドリのお花畑になり、アサギマダラが渡ってきます。アサギマダラの追跡調査のためにマーキングして放蝶します。軽登山の装備でご参加ください。

定員15名

■周辺のイベント■

大山夏山開き祭

【6月6日(土) 前夜祭】 大神山神社奥宮で安全祈願神事後、たいまつ行列が行われます。

【6月7日(日) 山頂祭】 大山頂上避難小屋周辺が工事中のため、山頂祭は場所を変えて開催される予定です(3月17日現在は詳細未定)。登山者の安全を祈願する神事です。

問い合わせ:0859-52-2502 大山観光局

■大山頂上工事のお知らせ■

2020年も大山夏山登山道(頂上付近の木道)と避難小屋(頂上及び6合目)の全面改修工事等が行われます。

工事期間中は山頂部や避難小屋への立ち入りができませんのでご注意ください。

5合目登山道わきに仮設トイレを設置、頂上に仮設売店と仮設トイレを設置します。

山頂は特別保護区になっており、テントの設営もできませんので、

工事期間中の山頂宿泊はご遠慮ください。山頂避難小屋での宿泊もできません。

詳しくは、鳥取県西部総合事務所 生活環境局 のHP(右のQRコード)でご確認ください。



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33

大山ナショナルパークセンター 1階

TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370

URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

